

平成29年度 横浜市強度行動障害支援力向上研修 (強度行動障害支援者養成研修[基礎研修])

会場：横浜市技能文化会館

日程	時間	配分	種別	講義名	講師(敬称略)
1日目	9:00~9:15	15分		受付 (着席後各グループでチェックリスト回収)	
	9:15~9:25	10分		開会・ガイダンス	横浜市/事務局
	9:25~10:15	50分	講義 3	「横浜市における行動障害のある方への地域移行 及び地域生活に向けた方向性について」	志賀 利一 国立のぞみの園
	10:15~10:25	10分	休憩		
	10:25~10:55	30分	講義 1-①	「プロローグ～強度行動障害のある人についての基本的な理解～ 強度行動障害とは(1)」	宇山 秀一 県央福祉会
	10:55~11:55	60分	講義 1-②	「私たちのことを知ってほしい～強度行動障害に関係する障害について～ 強度行動障害とは(2)」	
	11:55~12:45	50分	休憩		
	12:45~12:55	10分		アイスブレイク	武井 一仁 同愛会
	12:55~13:25	30分	演習 1-①	「お互いに共有しよう～記録と情報共有～ 情報収集とチームプレイの基礎(1)」	
	13:25~14:15	50分	講義 2-③	「支える仕組み～制度理解のヒント～ 強度行動障害と制度」	河原 雄一 藤沢育成会
	14:15~14:45	30分	講義 2-⑦	「支援の現場から～事例紹介～ 実践報告①(成人)」	五浦 洋輔 共生会
	14:45~14:55	10分	休憩		
	14:55~15:55	60分	演習 3-①	「私たちが困っていること～感覚の違いを体験しよう～ 行動障害の背景にあるもの(1)」	椎原 堅児 びぐれっと
	15:55~16:55	60分	演習 2-①	「わかりにくいんです。～伝わりにくさを体験しよう～ 固有のコミュニケーション(1)」	
	16:55~17:05	10分	休憩		
	17:05~17:35	30分	講義 2-⑤	「みんなでやろうよ～チームプレイの大切さ～ 支援の基本的な枠組みと記録」	添田 好男 ル・ブリ
	17:35~18:05	30分	講義 2-⑦	「支援の現場から～事例紹介～ 実践報告②(児童)」	明 秀行 光風会
	18:05~18:50	45分	講義 2-⑦	「支援の現場から～事例紹介～ 強度行動障害者の地域移行支援 実践報告③(成人)」	齋藤 健司 横浜やまびこの里
18:50~18:55	5分		事務連絡	事務局	
日程	時間	配分	種別	講義名	講師(敬称略)
2日目	9:00~9:10	10分		受付	
	9:10~9:40	30分	演習 1-②	「知ることから始めよう～根拠を持って支援する～ 情報収集とチームプレイの基礎(2)」	浮貝 明典 PDDサポートセンター グリーンフォレスト
	9:40~11:10	90分	演習 3-②	「本当の理由を考えよう～冰山モデルで考える～ 行動障害の背景にあるもの(2)」	
	11:10~11:20	10分	休憩		
	11:20~12:20	60分	講義 2-④	「ボクらの世界とのつながり方～環境を整える事の大切さ～ 構造化」	西尾 保暢 横浜やまびこの里
	12:20~13:10	50分	休憩		
	13:10~14:40	90分	演習 2-②	「やりやすくする～整えられた環境での活動～ 固有のコミュニケーション(2)」	西部 真弓 横浜やまびこの里
	14:40~14:50	10分	休憩		
	14:50~15:50	60分	講義 1-②	「医療と一緒に～福祉と医療の連携～ 強度行動障害と医療」	日原 信彦 横浜/パリテーションクリニック
	15:50~16:35	45分	講義 2-⑦	「支援の現場から～事例紹介～ 強度行動障害へのヒント 実践報告④(成人)」	西川 智久 すみなす会
	16:35~16:45	10分	休憩		
	16:45~17:45	60分	講義 2-⑥	「その時あなたはどうしますか～虐待・身体拘束・行動制限の予防は 支援の質の向上から～虐待防止と身体拘束」	坂田 瑞恵 横浜市松風学園
	17:45~17:50	5分		チェックリスト記入・回収	事務局
	17:50~18:00	10分	休憩		
18:00~18:20	20分		チェックリスト解説 (チェックリスト確認)	事務局	
18:20~18:35	15分		修了証書授与・アンケート回収・閉会	横浜市/事務局	

強度行動障害支援者養成研修 演習計画書

社会福祉法人横浜やまびこの里

●演習について

- ・各演習におけるグループワークは、1グループ最大8名とする。
- ・適切な進行や助言者として、各グループに補助者を1名配置し進行管理を行う。
- ・配置された補助者が講義などでグループを離れる際は、該当するグループの受講者に説明をした上で代理の補助者を配置し対応する。

●「基本的な情報収集と記録等の共有」(1時間) 演習計画

実施方法:①「お互いに共有しよう～記録と情報共有～」(0.5時間)と②「知ることから始めよう～根拠を持って支援する～」(0.5時間)の2コマに分けて演習を実施。

①情報収集とチームプレイの基礎(1)「お互いに共有しよう～記録と情報共有～」(0.5時間)

協働作業を中心に取り組み、チームプレイにはどのような要素が必要なのか、チームで取り組むことでどのような効果が発揮されるのか、演習を通して体験し今後の業務に活用する。

タワーづくり:用意されたA4用紙20枚やセロテープなどの限られた物と時間の中で、より高く組立てるためのアイデアを共有し、楽しい雰囲気の中でチームプレイの実行に必要な要素を学ぶ

②情報収集とチームプレイの基礎(2)「知ることから始めよう～根拠を持って支援する～」(0.5時間)

洗濯物を干すシーンでの指示や意味理解ができず混乱している事例映像を参考に、支援者の指示と本人の理解のずれや動作などをアセスメントし支援のヒントにつなげる

事例:重度知的障害を伴う自閉症者をモデルに、支援者が洗濯物を物干しハンガーに干すように言語や指さしなどで促すが、本人が理解できずに立ち止まっていることや指示以外の行動を取る場面から、「できていること」「できていないこと」をアセスメントし特性を含めどのような配慮が必要か検討する

科目	分	内 容	分担	使用シート類	配 慮 点 など	事務局
「お互いに共有しよう」 ～記録と情報共有～ (0.5時間)	5	事前講義・演習解説	講師		①講義の狙い ②演習解説 ③グループワークの留意点	
	10	演習 「タワー作り」「自事業所での 支援記録活用方法」など	ファンリ テー ター		①役割(司会・進行・記録)確認 ②演習進行管理	必要備品類配布
	5	意見交換		記録用紙	①演習についての意見交換 ②記録のまとめ	記録用紙配布
	5	発表	講師		2グループ程度発表	
	5	まとめ	講師		①チームプレイの条件 ②基本的技術の活用と流れ	
「知ることから始めよう」 ～根拠を持って支援す る～ (0.5時間)	5	事前講義	講師		①アセスメントの目的と種類 ②観察のポイント	
	5	映像視聴	講師		演習中も繰り返し再生	
	5	個人ワーク	ファン リテ ター	様子観察 シート①	観察ポイントを参考に、気付いた点や 気になった行動を記録	様子観察シート ①配布
	10	グループワーク		様子観察 シート②	情報共有し、視点の広がりやチーム 支援の大切さを確認	様子観察シート ②配布
	5	まとめ	講師		①アセスメントの重要性 ②客観的な評価で根拠のある支援	

●「行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解」(2.5時間) 演習計画

実施方法:①「わかりにくいんです～伝わりにくさを体験しよう～」(1時間)と②「やりやすくする～整えられた環境での活動～」(1.5時間)の2コマに分けて実施。

①固有のコミュニケーション(1)「わかりにくいんです～伝わりにくさを体験しよう～」(1時間)

視覚・聴覚・分からない言語などの疑似体験を実施。わかりにくさや伝わりにくさを体験し行動障害の背景からの理解を深める

②固有のコミュニケーション(2)「やりやすくする～整えられた環境での活動～」(1.5時間)の2コマに分けて実施。

多動や衝動性の行動がある事例を参考に、日中活動場面での様々な行動を改善するために必要な「配置案」「必要な配慮」「自立課題」を考え、様々な支援方法の工夫があることを演習を通じて学び、特性に合わせた個々の設定の重要性を確認する

事例:施設入所中の重度知的障害を伴う自閉症で、多動や衝動的な行動が多く常時見守りが必要であるが、障害特性に配慮した環境設定をすることで安心・安全に過ごせるようにする

科目	分	内 容	分担	使用シート類	配 慮 点 など	事務局
「わかりにくいんです」 ～伝わりにくさを体験し よう～ (1時間)	5	演習解説	講師		演習解説	
	40	疑似体験①	講師+ ファシリ テー ター	指示書①②	コミュニケーションの障害体験	指示書①②配布
		疑似体験②		読み上げ文	視覚と聴覚で異なる情報の体験	読み上げ文6種 配布
		疑似体験③			分かりにくい指示の体験	
	10	グループワーク討議	講師	記録用紙	①役割(司会・記録・発表)決め ②記録用紙記入	記録用紙配布
	5	まとめ	講師		①疑似体験の振り返り ②困り感などへの配慮を促す	
「やりやすくする」 ～整えられた環境での 活動～ (1.5時間)	10	演習説明	講師		①演習目的と流れ ②事例確認 ③留意事項	
	5	自立課題説明	講師		①10種自立課題解説 ②現物の設置	現物設置
	15	役割決め・個人ワーク	ファシリ テー ター	個人ワーク 用紙	①役割(司会・記録・発表)決め ②記録用紙記入	記録用紙配布
	10	個人ワーク発表			①グループ内で個人ワーク案発表 ②情報共有	
	30	グループワーク		グループ ワーク用紙	①各自の意見を調整 ②グループ案作 成	記録用紙配布
	10	発表	講師		2グループ程度発表実施	
	10	まとめ	講師		①アセスメント・チーム支援の重要性 ②多角的な視点での支援	

●「行動障害の背景にある特性の理解」(2.5時間) 演習計画

実施方法:①「私たちが困っていること～感覚の違いを体験しよう～」(1時間)と②「本当の理由を考えよう～氷山モデルで考える～」(1.5時間)の2コマに分けて実施。

①行動障害の背景にあるもの(1)「私たちが困っていること～感覚の違いを体験しよう～」(1時間)

当事者が感じている状況を、手がかりが不十分な状況や感覚の特異性を疑似体験し、支援者として当事者の理解の仕方や感じ方の困難さを理解する

②行動障害の背景にあるもの(2)「本当の理由を考えよう～氷山モデルで考える～」(1.5時間)の2コマに分けて実施。

知的障害を伴う自閉症(13歳)の事例を参考に、行動や特性などから、行動の背景には様々な理由があることを理解する

科目	分	内 容	分担	使用シート類	配 慮 点 など	事務局
「私たちが困っていること」～感覚の違いを体験しよう～(1時間)	10	演習解説	講師		演習目的	
	40	疑似体験①	講師+ファンリター	折り紙 手順書①②	手がかりの不十分な活動	折り紙 手順書①②配布
		疑似体験②		手袋	感覚の特異性(手先の感覚)	手袋配布
		疑似体験③		セリフ用紙	感覚の特異性(音の洪水)	セリフ用紙配布
		疑似体験④		A4用紙	感覚の特異性(見え方の体験)	A4用紙配布
	10	まとめ	講師		①疑似体験の振り返り ②困り感などへの配慮を促す	
「本当の理由を考えよう」～氷山モデルで考える～(1.5時間)	10	演習説明	講師		①演習目的と流れ ②氷山モデル解説	
	10	事例解説	講師		①事例紹介 ②ワークシート説明	ワークシート配布
	15	役割決め・個人ワーク	ファンリター	個人ワーク用紙	①役割(司会・記録・発表)決め ②記録用紙記入	記録用紙配布
	35	グループワーク		グループワーク用紙	①各自の意見を調整 ②情報共有 ③グループ案を作成	記録用紙配布
	10	発表	講師		2グループ程度発表実施	
	10	まとめ	講師		①障害特性と環境要因の捉え方 ②根拠に基づいた支援	

(網掛け部分がグループワークの時間帯です)

講師一覧（基礎研修）

担当科目	氏名	現職	専任・兼任		
講義	1 強度行動障害がある者の基本的理解				
	①強度行動障害とは	宇山 秀一	社会福祉法人県央福祉会 逗子市通園事業所 くろーば一園長	兼任	
	②強度行動障害と医療	日原 信彦	横浜ハビリティーションクリニック院長	兼任	
	2 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基本的な知識				
	③強度行動障害と制度	河原 雄一	社会福祉法人藤沢育成会 湘南ゆうき村（障害者支援施設）施設長	兼任	
	④構造化	西尾 保暢	社会福祉法人横浜やまびこの里 まるんワークス（生活介護） サービス管理責任者	兼任	
	⑤支援の基本的な枠組みと記録	添田 好男	社会福祉法人ル・プリ あおぞら（地域活動支援センター）所長	兼任	
	⑥虐待防止と身体拘束	坂田 瑞恵	横浜市松風学園 入所支援第一係長	兼任	
		齋藤喜美夫	社会福祉法人同愛会 てらん広場第2事業所 （生活介護・共同生活援助）施設長	兼任	
	⑦実践報告	明 秀行	社会福祉法人光風会 すみれ園（福祉型障害児入所施設）施設長	兼任	
		五浦 洋輔	社会福祉法人横浜共生会 花みずき（障害者支援施設）相談支援員	兼任	
		西川 智久	社会福祉法人すみなす会 航（障害者支援施設）支援課長補佐	兼任	
		齋藤 健司	社会福祉法人横浜やまびこの里 ハウスBEE（共同生活援助）支援員・サービス管理責任者	兼任	
	3 その他				
	横浜市における行動障害のある人への地域移行及び地域生活に向けた方向性	志賀 利一	国立のぞみの園 事業企画局研究部長	兼任	
	演習	1 基本的な情報収集と記録等の共有	武井一仁	社会福祉法人同愛会 つづき地域活動ホーム施設長	兼任
			浮貝 明典	特定非営利活動法人 PDD サポートセンター グリーンフォーレスト 共同生活援助 管理者・コーディネーター	兼任
		2 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	椎原 堅児	社会福祉法人ぴぐれっと 地域支援センターぴぐれっと（居宅介護・重度訪問介護他）サービス提供責任者	兼任
			金子 浩崇	社会福祉法人横浜やまびこの里 東やまたレジデンス（障害者支援施設）相談支援員	兼任
西部 真弓			社会福祉法人横浜やまびこの里 東やまたレジデンス（障害者支援施設）支援員	兼任	
3 行動障害の背景にある特性の理解		椎原 堅児	社会福祉法人ぴぐれっと 地域支援センターぴぐれっと（居宅介護・重度訪問介護他）サービス提供責任者	兼任	
		浮貝 明典	特定非営利活動法人 PDD サポートセンター グリーンフォーレスト 共同生活援助 管理者・コーディネーター	兼任	

演習補助者一覧（基礎研修）

担当科目	氏名	現職	専任・兼任
演習 1 基本的な情報収集と記録等の共有 2 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解 3 行動障害の背景にある特性の理解	浮貝 明典	特定非営利活動法人 PDD サポートセンター グリーンフォーレスト 共同生活援助 管理者・コーディネーター	兼任
	椎原 堅児	社会福祉法人ぴぐれっと 地域支援センターぴぐれっと（居宅介護・重度訪問介護他）サービス提供責任者	兼任
	五浦 洋介	社会福祉法人横浜共生会 花みずき（障害者支援施設）相談支援員	兼任
	齋藤 陽介	社会福祉法人同愛会 つづき地域活動ホーム相談支援員	兼任
	村上さくら	社会福祉法人同愛会 森のピーターパン（行動援護等事業所）サービス提供責任者	兼任
	赤川 真	NPO 法人新 グループホームはあとっこ（共同生活援助）管理者	兼任
	渡邊 哲也	社会福祉法人ル・プリ 青葉メゾン（障害者支援施設）相談支援員	兼任
	丸山 徳晃	社会福祉法人ル・プリ 青葉メゾン（障害者支援施設）生活支援員	兼任
	飯山 文子	社会福祉法人白根学園 自立サポートセンター歩（宿泊型訓練施設）施設長	兼任
	三熊 栄治	社会福祉法人光風会 工房ごんた村（生活介護）支援員	兼任
	足達 勇平	社会福祉法人すみなす会 航（障害者支援施設）生活支援員	兼任
	松島 祐治	社会福祉法人横浜やまびこの里 ヘルパーセンターやまびこ（行動援護・居宅介護他事業所）サービス提供責任者・ヘルパー	兼任
	齋藤 健司	社会福祉法人横浜やまびこの里 ハウス BEE（共同生活援助）生活支援員（係長）	兼任
	佐藤 修平	社会福祉法人であいの会 ソイル栄（障害者支援施設）支援員	兼任
	小倉 明子	社会福祉法人ル・プリ 杜の地域支援室（行動援護・居宅介護等事業所）管理者	兼任
	田村 優紀	社会福祉法人大樹 ヘルパーステーション木の葉（行動援護・居宅介護事業所）管理者・サービス提供責任者	兼任
上條健太郎	社会福祉法人恵和 人材育成室長	兼任	
矢島 誠	社会福祉法人偕恵園 居宅生活サポート偕（移送支援サービス事業所）サービス提供責任者・ヘルパー	兼任	